

パールトーン加工について

パールトーン加工とは、着物や美術品などの布製生地加工する、高品質の撥水技術を指します。IDEEで椅子張り用に受けている撥水技術は、パールトーンHG（ハイグレード）加工で、椅子張り用に開発された超撥水、防汚加工となります。

【特徴】

- ・多くの生地に加工が出来ます。（化学繊維、天然素材、絹、麻、綿など）
但し、ベルベット生地など一部使用出来ない生地もあります。
- ・85°程度までの温かい液体（ホットコーヒー等）にも効果があります。

【効果持続性、耐久性】

撥水加工の摩擦撥水試験（J I S L I 1092スプレー試験：摩擦1000回処理）は最高ランクの5級を獲得しています。

【再加工】

- ・張り込み式の製品への後加工は行っておりません。
- ・着脱カバーの後加工の場合、加工の可否は詳細を確認させて頂く必要がございます。
詳細はスタッフまでご確認ください。
- ・着脱カバーの後加工の場合、通常と加工費の算出が異なりますので詳細はスタッフまでご確認ください。
- ・着脱カバーの後加工の場合、折り返しの縫製箇所など厚みのある箇所は、通常の加工に比べて効果が弱くなる可能性がございます。予めご了承ください。

【効果のない液体、汚れ】

- ・血液
- ・消毒用アルコール
- ・毛染め液

【その他注意が必要な液体】

- ・赤ワイン
- ・オレンジジュース等果汁を絞った液体
初期の撥水効果はありますが、放置すると汚れや色素が固定化して生地が染まる可能性があります。
- ・ペットの尿
撥水効果自体はありますが、生地の隙間からウレタンに染み込むと臭いが取りにくくなることがあります。
また、放置すると汚れ、臭いが生地に残る可能性があります。
ペットは同じ場所で繰り返し尿をする可能性がある為、特に早めの拭き取りをお勧め致します。

【加工できない生地】

- ・生地幅が1.6Mを超えるもの。
- ・生地に不織布やフィルム等が接着されているもの。
- ・スエード調の人工皮革（ただし10M以内であれば可能）
- ・ベルベット、別珍調の生地は一部加工出来ないものもある為、事前にスタッフまでご確認ください。

【メンテナンス】

・水性汚れ

- ①乾いたタオルでこすらないように汚れを吸い取り、大まかな汚れを吸収します。
- ②残った汚れに水をかけて汚れを浮かび上がらせます。
- ③ ①②の方法で浮かび上がった汚れを吸い取ります。
- ④処置を行ったら、十分に乾かします。
※濡れたタオル等で強く拭いたり、擦ったりすると、繊維の中に水分や汚れが入り込んでしまう為、必ず叩くように拭き取ってください。

・油性汚れ

- ①乾いたタオルにベンジンをたっぷり染みこませます。
- ②汚れた箇所に①のタオルをしばらく押し付け、汚れを溶かします。
- ③別のタオルにベンジンをたっぷり染み込ませ、ほかすように拭きます。
- ④汚れが残っている場合は③の処置を繰り返します。
- ⑤処置を行った部分をドライヤーで乾かします。
※温風を使用する場合は、ベンジンの引火に注意してドライヤーを生地に近づけ過ぎないように十分注意してください。

【注意事項】

- ・汚れを放置すると時間経過と共に汚れが固定化し、生地が変色する可能性があります。
パールトーン加工だけで完璧な汚れ防止は出来ない為、早期のメンテナンスが必要となります。
- ・界面活性剤を含んだ薬品（中性洗剤）、布用消臭スプレーは撥水効果を減退させる為、ご使用をお控えください。
- ・加工した際、生地によっては本来の風合いが変わることもあります。予めご了承ください。
- ・ホットコーヒーなど温かい液体にも一般的な撥水加工としての効果があります。
ただし、乳化した高温の液体、高温の油性の液体には効果が発揮出来ない可能性があります。
- ・水洗い洗濯、ドライクリーニングは撥水効果が減退する為、避けてください。
- ・防炎加工の生地に撥水加工を施すと、防炎効果が減退しますのでご注意ください。
特に後防炎加工の生地に撥水加工を施すと、撥水、防汚効果も弱まり、生地自体の防炎認定も不可となる可能性があります。

【安全性】

- ・ホルムアルデヒドなどの有害物質は含まれておりません。
パッチテスト（皮膚障害性試験）にも合格しております。
- ・食品・添加物等の規格基準以下（測定限界以下の0.05以下）
- ・カビ抵抗性0の効果があり、防カビの効果が有ります。
（カビ抵抗性試験 J I S Z-2911 0>1>2）（使用方法によってはカビが発生する可能性もございます）